

歴史を歩く 44

（大崎郷の最大の商業地として栄えた街（大崎上町地区））
 おおさきの歴史を旅してみませんか⑨
 ②



5 西南の役官軍本営跡

明治10年（1877年）7月に三文字地区で始まった前哨戦で敗れた薩軍がこの本営を捨て菱田方面へと退却。その後官軍がこの本営を占拠した。

現在は、宅地となっている。



4 廃仏毀釈で破壊された仏像

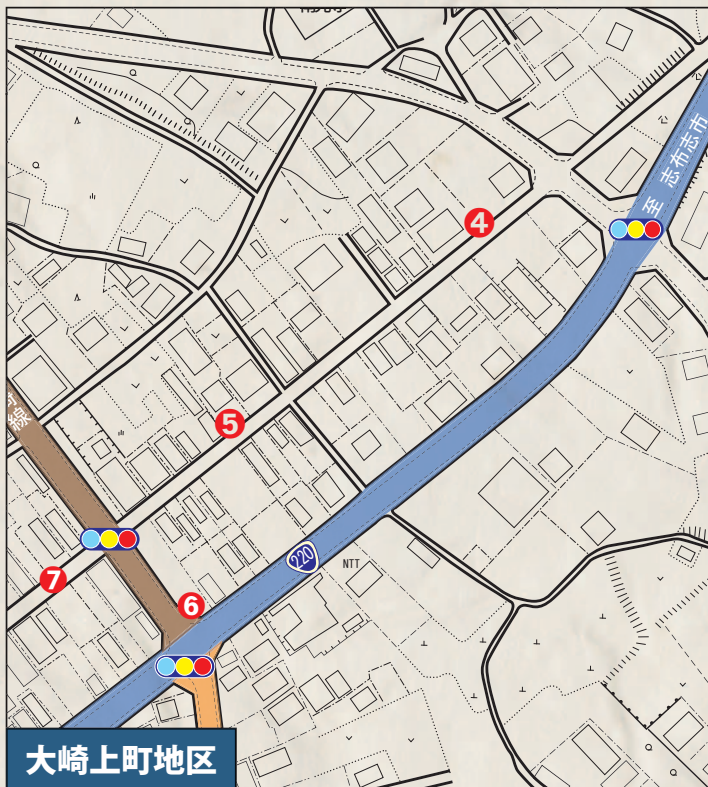
慶応4年（1868年）の『神仏分離令』や明治3年（1870年）の『大教宣布』などの機会に引き起こされた仏教排斥運動（廃仏毀釈）によって、鹿児島県の寺院はすべて破壊された。

この仏像は廃仏毀釈のすさまじさを物語っている。

6 お稲荷さあ

商売繁盛の神。

たたりがかなり激しく、以前にこの地に住んでいた人が、さわって心が病んだと言われている。裏に丸に十の字が刻まれている。



7 上町商店街と野市

明治22年（1889年）の新県道建設により大崎村の商業中心地として発展。明治6年（1873年）の地租改正によって一軒あたり間口三間（約5.4m）で区画整理がなされ、現在も土地の区割りにその名残が残る。

江戸時代から旧2月7日、旧4月7日、旧7月7日、旧12月17日、旧12月27日には『市』が開かれていた。旧7月7日の『七夕市』、旧4月7日の『みの市』は近年まで開催され、にぎわっていたが現在は途絶えてしまった。